

## 本時のねらい

「I wish 主語 動詞の原形～」を用いて、自分の『願望』やその理由について、英語で友だちに伝えることができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

相手が理解しやすいように、自分の願望をスライドにまとめて表現する。

自分の表現したい内容に合った写真等を活用することで、より相手に伝わりやすいスライドを作成する。

授業支援ソフト（ミライシード）を活用することで、生徒のスライドをクラス全体で共有し、活発な意見交流をねらった。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・PowerPoint
- ・プロジェクタ
- ・カメラ機能
- ・授業支援ソフト（ミライシード）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常学習として、テーマについて、30 秒間ペアで英語による会話をを行う。</li> <li>○本時のねらいを確認し、学習の見通しを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PowerPoint で作成したトピックを提示する。既習内容を活用しながら、質問したり、リアクションをとったりするなど、豊かな表現で会話するよう促す。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○例題や教員が提示した写真をもとに、本時の基本表現の意味や用法について理解する。</li> <li>○授業支援ソフト（ミライシード）に自分の願望をまとめ、1 枚のスライドを完成させる。</li> <li>○作成したスライドをもとに、自分の願望やその理由についてクラス全体で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業支援ソフト（ミライシード）を活用することで、生徒の考えをクラス全体で共有することができる。また、授業で使用したスライドや資料を配信することで、生徒が家庭でも学習の続きに取り組むことができる。</li> <li>・生徒の進捗をリアルタイムで確認することができ、教員が個別の支援を行うことができる。</li> <li>・スライド作成に悩んでいる生徒には、他の生徒のスライドを参考にしたり、質問したりするよう促す。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のねらいについて、理解したことや気づいたことなどを自分の言葉でノートにまとめる。</li> </ul>	

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：教員が配信した例題や写真から、基本表現の用法や意味を考えている場面



写真 2：授業支援ソフト（ミライシード）を活用して、自分の願望やその理由をスライドにまとめている場面



写真 3：作成したスライドをクラス全体で発表している場面

## 児童生徒の反応や変容

・ホワイトボードに提示した写真や、例文を通して「仮定法」がどのようなものか考え話し合うことにより、文の構成におけるポイントの理解を深めている生徒が多く見られた。また、身近な写真やイラストを用いた導入をしたことにより、英語に苦手意識のある生徒も理解することができ、発言する場面があった。

・生徒の作品を全体で共有することにより、生徒同士が互いの意見にリアクションして、あたたかい雰囲気での学習することができた。

・他の生徒のスライドを確認したり、質問したりすることで、英語に苦手意識をもっている生徒や自己表現が得意でない生徒も、どのように作成したらよいかコツをつかむことができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

生徒にとって身近な写真やイラストを文法導入時の例文として導入することにより、誰が見ても理解しやすい内容となることを心掛けた。

「現実とは異なるものも世界に対して…」という仮定法概念を、ICT 機器を用いることで、視覚的・直感的に理解させることができた。